

本会議における 代表質疑・議案質疑

【質疑をした会派名】

今定例会では延べ31名の議員が質疑を行いました。市が提出した議案の内容、提案の理由等について、疑問点や不明な点を明らかにするために行います。こちらには、それぞれの議案に対する質疑の一部を要約し、掲載しています。採決の際、討論を行った議案は、「討論あり」と表示し、9ページに掲載しています。

代表質疑 市政・教育行政方針について

【自由民主党】（公明党）（政晴会）
【日本共産党】（政策フォーラム）

問 コロナ感染症が収まらない中、市制施行100周年の節目となる令和4年度を川合市長はどのように取り組んでいくのか。
答 感染拡大防止、社会経済活動の両立にしっかりと取り組む。次の1000年も見据え、第四次総合計画の各施策に取り組む。
問 蔵inガルテン川越の事業も完了間近。南古谷駅周辺エリアのまちづくりをどう進めるか。
答 まずは、駅周辺の基盤整備を段階的に行うと

答 新しい制度の中における市の役割等を整理した上で、どのような体制で取り組むことが適切か、検討を進める考えである。
問 子どもの読書離れへの市の図書館活用の考えは。
答 ブックスタート、おはなし会や学級訪問などにより、本との出会いのきっかけを用意している。また、団体貸し出しや電子書籍の充実により、読書離れに歯止めをかけた。

問 コロナ禍における教育の課題への対応は。
答 2年間にわたるコロナ禍での教育活動を踏まえ、授業や学校行事の内容などの質をさらに高め、児童生徒が達成感・自己有用感を得られる取り組みにつなげていきたい。
問 まん延するオミクロン株に歯止めをかけるべく、よりスピード感のあるワクチン接種を行うための本市の取り組みを伺う。
答 国の方針より前倒しを行い、現在、2回目接種

完了から6カ月経過した人が接種対象で、接種率は国・県を上回っている。
問 企業誘致により労働力の奪い合いとならぬよう、既存企業の人材確保にどのような支援を行うのか。
答 環境への配慮など複雑化する経営環境に対応できる人材の確保を埼玉県企業人材サポートデスク川越と連携して支援する。
問 教育現場の情報化に適切な対応を行うための取り組みを伺う。
答 第2次学校教育情報化推進計画を策定し、ICT活用の授業プラン作成や教職員研修計画、必要十分なICT環境の検討等、情報化を推進する。

問 市民負担や効率性を考慮し、書かない窓口の設置に対する考えを伺う。
答 書かない窓口の設置は、オンライン手続きが行えない人に配慮した有効な取り組みと認識しており、計画的に取り組んでいく予定である。
問 行財政改革で削減される事業などはあるのか。
答 他市の水準との比較や支出の伸び、事業の必要性などの観点から、見直しの内容や規模、必要性などを検討する。
問 教員採用試験受験者数の減少や教員不足が懸念されている。教員の厳しい労働環境をどのように改善していくか。
答 複線化の実現は、川越市民および川越周辺の産業界の長年の悲願でもあるので、産業・経済・文化等の発展にもつながるよう、あらゆる機会を捉えて、JR東日本に対して粘り強く要望していく。

議案第2号 職員の育児休業等に関する条例等の一部改正

【無所属】（日本共産党）

問 どの職員も等しく働きやすいことは重要である。条例改正の効果を伺う。
答 特別休暇の追加、会計年度任用職員の育児休業等の取得要件の緩和および給与面の整備などの処遇の改善により、職員の妊娠、出産および育児と仕事の両立の支援等を図